

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本雅代
	全体計画	平成29年度 ~ 平成31年度		経費区分	実施計画事業費		内線	3613				
事務事業名	4257 教育活動支援事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	事業	040000 教育活動支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
小・中・支援学校において、きめ細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置する。						教員補助員は、担任だけでは支援しきれない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。 外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でない児童生徒に対し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し日本語の指導を行い、学校教育の支援が図られた。	教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し日本語の指導を行い、学校教育の支援が図られた。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し日本語の指導を行い、学校教育の支援が図られた。	教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し日本語の指導を行い、学校教育の支援が図られた。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し日本語の指導を行い、学校教育の支援が図られた。	教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置し、小・中・支援学校において、きめ細かい行き届いた教育を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		81,776	104,966
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	461	461
	地方債	0	0
	その他	12,927	47,669
一般財源		68,388	56,836
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	2.1	2.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	5,940.9	5,940.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,667.4	6,667.4
市民一人当たりの経費		1.7	2.1
総額		88,443.4	111,633.4

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,875	外国籍児童生徒支援員謝礼 教員補助員等研修会講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	616	子どもの生活・学習支援事業委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	79,285	教員補助員賃金 ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,926	外国籍児童生徒支援員謝礼 教員補助員研修会講師謝礼
10節 需用費	0	
12節 委託費	616	子どもの生活・学習支援事業委託
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	99,424	教員補助員賃金 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教員補助員、外国籍児童生徒支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対し、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教員補助員は、担任だけでは支援しきれない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援にあたり、教育活動の充実を図る。 外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でない児童生徒に対し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	指導主事の配置により、学校への適切な指導・助言が行われ、円滑な学校・学級運営を行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

決め細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員や外国籍児童生徒支援員の配置ができた。また、学力向上に向けた指導主事を配置し、学校訪問支援や、研修等を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
支援を必要とする児童生徒に対し、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行うことができた。		これまで徐々に拡大されてきたが、少子化が進む中、費用対効果を検証する時期に来ている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	